

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	1080	青少年センター運営経費	会計	01	一般会計
基本施策	37	子どもたちの健やかな成長を促す	款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	04	青少年育成費
担当部課名	教育委員会 生涯学習課		細目	102	青少年センター運営経費
作成者氏名	奥井平和	連絡先	細々目	01	青少年センター運営経費
		22 - 9679			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	市内の青少年	成果(どうなるのか)	非行防止。青少年に対する有害な環境をなくす。
	本年度事業内容	青少年を健全に育てるための街頭補導活動。青少年育成相談。有害図書の児童販売機等、有害環境の浄化活動。青少年育成関係団体との事業連携、情報交換		
運営主体	直営 (委託先:	指定管理	民間委託等	根拠法令・要綱等
	市内の類似施設	伊賀市青少年条例		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.18	0.18	0.18
	人件費合計(A)	1,296	1,296	1,296
支出内訳 (千円)	事業費(B)	5,051	5,094	5,094
	委託料			
	指導員報酬	3,903	3,903	3,903
	その他	1,148	1,191	1,191
合計(A+B)		6,347	6,390	6,390
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		6,347	6,390	6,390
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
被補導少年数	人	91	90	88			
補導活動実施回数	回	(16年度 296回)					

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
有害図書自動販売機設置箇所数	環境浄化活動の成果として有害図書の自動販売機設置台数が減少する	台	33 目標 (0)	33	32
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

活動の範囲や、内容も上野地区から旧郡部を含めた事業の展開を目指している。伊賀市全体の青少年育成組織をまとめた組織の構築を模索している。

評価	必要性	4	従来より市では青少年センターを設置し青少年の育成相談や補導活動を実施していた。旧郡部には設置されていなかったが、伊賀市内の高校の大半が上野地域にあり旧郡部の子ども達も多数通学している。そうした面から新市として合併し市域が広がったことから広く伊賀市全体の相談事業や補導活動とその基点が必要と必要です。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		